

令和6年 5月 7日

田辺市議会議長 尾花 功 様

会 派 名 紀新会
代表者名 安達 克典

出張（調査研究）報告書

下記のとおり出張（調査研究）いたしましたので、その結果をご報告いたします。

記

参加議員	安達克典、尾花 功、宮井 章
期 間	令和6年 4月 21日 ~ 令和6年 4月 23日
実施場所 (研修会場、視察先、 相手方等)	① 群馬県高崎市榛名支所 ② 群馬ナッツパーク NPO法人 群馬ナッツ協会 ③ 山形県天童市 東海林氏 ナッツ農園 佐藤苗木園 佐藤 隆氏 ナッツ農園
活動の目的・内容 及び結果等	複合果樹栽培の実践。 単一の梅栽培だけでなくアーモンド栽培を取り入れる ことで収入の安定化を図る。

報告書は別添のとおり（案内・パンフレット等関係書類を添付すること。）

【 目的等 】

遊休農地を利用したアーモンド栽培による農業収入の安定化について

【 視察地等 】

群馬県高崎市榛名支所 （群馬県高崎市下室田町900-1）

群馬ナッツパーク （群馬県高崎市十文字町）

【 説明者ほか 】

- ・群馬県高崎市榛名支所長 太田 直樹氏
- ・NPO 法人群馬ナッツ協会理事 片貝 喜一郎氏ほか

【 視察内容等 】

- ① 群馬県高崎市役所榛名支所・・・群馬県高崎市における農業生産について
- ② 群馬ナッツパーク・・・・・・・・アーモンド栽培地における現地視察研修

高崎市は古くから交通の要衝であり、商都として発展を続け、近代においては全国に先駆けた問屋団地や地方卸売市場の整備に取り組んできた。

現在では、機械や金属をはじめとする高度な産業が集積し、また平野部から山間地に至る市域では、地域の特性を生かした多彩な農産物も生産され、商工農林業の各分野にわたりバランスの取れた産業・経済基盤を有している。

織物や製粉、木工、板紙などの在来産業も継承されており、食料品や電気機械器具、機械、化学工業などの近代工業も盛んである。

また群馬県の果樹農業は、長い日照時間や標高差に富んだ地形などの恵まれた自然条件と立地条件を活かし、中山間地域から平坦地まで、地域の特性に応じた特色ある果樹産地が形成されており、林檎、葡萄、梨、梅を中心に12品目が栽培され、特に榛名地区は梅や梨、プラム、桃などの果物の名産地として知られている。梅に関しては東日本一の生産量を誇る一大産地でもある。

その他の農業としては、米、青梗菜、玉葱、ブロッコリー、ほうれん草、ブルーベリーの6品目が特別栽培農産物に認証され、市内約150の農家で栽培されている。

また、農業者の支援を目的として、平成23年度から地産多消推進事業を実施している。さらに、農地利用集積円滑化事業や担い手経営基盤強化支援事業など、農業構造を改善するための様々な事業を行っている高崎市農業公社もあり、高崎市としては、水田農業構造改革対策事業、農作物等病害虫対策事業、特別栽培農産物認証システム推進事業、野菜価格安定事業、野菜等産地育成事業、環境保全型農業推進事業、果樹生産振興対策事業などの支援施策により持続可能な農業に取り組んでいるところである。

そのような中、遊休農地の有効活用と農業収入の安定化を目的とし、マルコナ種を主体としたアーモンド栽培に取り組み、将来の生産販売を目指している。

【所感等】

高崎市の全産業から見ると農業生産の占める割合は決して大きくないが、地形と気候に恵まれていることからハウレン草やブロッコリーなどの特別栽培農産物に加えて、12品目の果樹栽培に取り組んでいる。中でも梅の生産量においては「東日本で一番」であるとのキャッチコピーから地域農業の活性化に努めている。

今回はアーモンド(マルコナ種)の栽培から生産をもって農業所得の向上と安定化を目指している高崎市十文字町の群馬ナッツパークを視察した。

約6,000m²の耕作地には、マルコナ種の白、赤、ダベイ種、新規交配種(まだF1だと思ふ)などが樹種別に整理され植栽されていた。その内の1,000m²については、苗間隔を密植栽培とし、反別あたりの収穫量の増加にむけた実証実験が行われていた。

アーモンドの苗木供給については、山形県の佐藤農園で生産されたものであり、生産方法については、桃の台木にアーモンドの穂木を接ぐ「接ぎ木」のみ有効であるとの説明であったが、アーモンドは非常に樹勢が強く、枝条からの萌芽率も非常に高いことから、挿し木で増やせるのではないかと感じた。

挿し木生産が有効であれば、精鋭樹の効率的な増産に繋がる為、県試験場とも相談しながら取り組んでみたい。

耕作地の立地条件としては、森林地帯から一定の距離をおく平野部であるため、ニホンジカによる食害が殆どないのが最大のメリットである。

一方、研修当日は濃霧であり、土壌が赤土であったことから、アーモンド栽培の大敵である多湿と水はけの悪さによる生育不良について懸念が残った。

その他、群馬県内にはNPO法人群馬ナッツ協会もさることながら、大島ナッツ、株式会社カリフォルニア・アーモンド・アコー、ナッツファクトリなど、アーモンドを含めた「ナッツ」に関わる専門店が数店舗あるなど、市場としての素地があることから、県産アーモンドが順調に生産されれば、購買市場への浸透は早いのではないかと感じた。

今後の課題としては、国内生産アーモンドの知名度向上を図り、販路拡大と安定供給ができるか、獣害対策、気候への適応、苗木の供給体制、農業生産者へのアプローチといったところだろうか。

田辺市としては、遊休農地をはじめ、荒廃農地や林地などを利用し実証実験を繰り返しながら、地域農業の下支えに資する新たな生産品種として前向きに迎え入れたい。

さらに、田辺市は日本一の梅生産地であることから、そのノウハウを活用することで、他県に負けない生産体系を構築することが可能であり、さらに、田辺市が先駆者でありリードしている企業の森事業との連携により、CSR活動はもとより観光や自然教育また緑化推進活動にも寄与できるものと考えられる。

また、植栽樹種が今まで類を見ない「国産アーモンド」であることから、菓子メーカーなど大手関連企業との新たな協定も考えられる中、これを契機として、国産アーモンドの生産及び市場開拓への相乗効果に大いに期待できるのではなかろうか。

高崎市役所榛名支所にて概要説明及び質疑応答



高崎市役所榛名支所の正面玄関にて



アーモンド苗木(マルコナ種・白花)の栽培状況を確認



アーモンド園について説明を受ける



各種アーモンドの栽培地(約6,000m²)



アーモンド(マルコナ種・赤花)の生育状況

